

睡蓮

大 岩 金

極暑の候に際しまして今回は水に縁のあるこの睡蓮に就きまして例の通り簡単に栽培法を申し上げます。

屬名をニンフィアと申しますが是はギリシヤ及びローマの神話の中にある水中の女神の名を採つたものださうであります。が盛夏の候水中に光澤ある綠葉を浮べこの中に白、紅、とり／＼の花を泥にもします。開花した様は誰しもこの清々しく、俗情のない點に實にやと首肯される事と思ひます。

さてその原産地は南北の溫帶地方であります。四十種ばかりの品種がありますが是を大別致しまして耐寒性と不耐寒性との二種類と致します。不

耐寒性のものは冬期は溫室内で越冬させなければなりませんから一般には耐寒性の方を栽培した方が安全であります。耐寒性の方の球根即ち根莖はワサビ状をして居りまして是から更に白色の太い根を出すのであります。

一、用 土

畑土に腐葉土三、四分を交ぜたもの又は田土を乾して是を小さく碎いたものなどが適當して居ります。

二、植 付

三月の下旬か四月になつて霜のちそれのなくなりました時に行ふのであります。

繁殖は一般には株分法に依つて居りますが播種法に依つても繁殖させる事が出来ます。その株分の仕方はワサビ状の根莖を一〇糎位宛に切斷すればそれでよろしいのでありまして極簡單であります。尙この時ついて居ります芽があまり澤山あります時はその中大きい丈夫さうなもの二、三個を残して他は切りとつておいた方が他の芽の成育がよいやうであります。

かくして芽分しましたものは前記の用土で鉢又は箱（この器の大きさ芽の大小に依り二〇糎—二五糎の口径のもの）に植ゑ是をリリーポンドに入れるのであります。このリリーポンドの形には方形、圓形、長方形、その他種々な技工をこらしたものが洋式庭園などには澤山あります。要はその深さにあるので植ゑ込みました鉢の土面から水面までの深さは凡そ三〇糎内外が適當であります。又水面よりポンドの縁までは凡そ一〇糎内外の深

さを必要としますから全體としてのリリーポンドの深さは六〇—七〇糎位のものでよいのであります。是に準じてリリーポンドの設けのない場合には他の大なる甕又は樽に水を盛りその中に入れてばよいのであります。或はまた池に直接植ゑ又は睡蓮鉢といふ特殊の鉢に植ゑて他の器に入れない事もあります。睡蓮鉢の大きさは口径六〇糎以上深さ三〇—四〇糎位のものがよいのであります。鉢が大なれば自由に葉が擴がる事が出来まして睡蓮の爲にも外觀にもよいわけであります。この鉢を用ひます時は鉢の深さの七分目位土を入れ残り三分に水をはつておくのであります。この水は植ゑ込みの當時は尙更汚れ易いものでありますからその都度取り替へてやります。尙時にはホヱラなどの繁殖する事がありますから小さい金魚・メダカなどを數匹飼つておくのも一方法であります。しかしこの場合には睡蓮の根元を小石の如き

ておさへておきませんと根をつゝき食される事があります。

三、肥料

植込みの際の基肥と致しましては干鯨の如き魚肥を用ひます。棒の如く長いものはそのまゝ鉢の周圍から底の方に一鉢につき一〇糶長さのもの三四本を挿し込み粉状のものですと一握位宛を新聞紙に包んだもの二三個を前同様鉢の周圍から鉢底に挿し込むのであります。紙に包みません時は粉が徐々に水面に浮び是がため小魚が土をつゝきまはす心配があります。

その後の追肥と致しましては魚肥に油粕を交ぜたものを前同様の方法で時々挿入すればよいのであります。又油粕と灰と土とをねり固めまして是を土中に入れてもよいのであります。

四、開花

充分な施肥と日照とに依りまして葉はずん／＼

と伸びやがて蕾もみえて來るのであります。かくて六月頃から晩秋の頃まで咲きつゞけるのであります。

花には晝咲種と夜咲種とがありまして晝咲きの方は朝七、八時頃から午後二、三時頃まで咲き、夜咲きの方は日暮から翌朝八時頃まで開いて居るのであります。蕾から次第に水面上に頭をのぼして終に外界で開花し花が終りますや又水中に沈んで實を結ぶのであります。

花色には、白、黄、淡紅、濃紅、紫など種々にありますがいづれおとらぬものであります。

五、越冬

耐冬性の種類でありますならば水を入れたまゝでも越冬する事が出來ますけれども寒地にありましては甕に蓋をするか或は水を少なくして落葉を入れ又は全體に霜除するのであります。

六、切花

自然に咲いたまゝを觀賞するに越した事はありませぬけれども他の草花と同様に切花と致しますれば涼味の豊富なものでありますから一言附けておきます。是を盛ります器は必ず平らな水盤を用ひるのであります。是に清水をたゞへその中に葉の幼老様々なもの即ち未だ開展しないもの、半開

のもの、全開のもの、花も同様なものを切り、自然にならつて配置よく永面に浮ばさせるのであります。かくて是を切斷致します時はなるべく水中で致しますれば花持ちが長いと申します。又その切口を毎日少しづつ切り直してゆく事も水揚げをよくする一方法だと申して居ります。

日本幼稚園

協會總會

七月二十二日より六日間、毎日午前中の文部省幼稚園の講習開會中の好機に、協會主催の遊戯講習會の終つた翌二十六日午後一時より同講習會場に總會を開催。未會員講習員の御出席も願つたので殆んど全講習員、加へて外來會員、多數の出席あり、會頭まづ堀主幹立つて、

「本年は協會創立三十年、幼稚園の創立五十五年、幼稚園令發布五年の芽出度い年に當るから、本協會主催で、五月頃大々的に記念祝賀會開催をと、年

頭に計畫したのが、皇后陛下行啓の慶事で準備不能となり、今日の總會に到つた」と

と、開會の辭を述べられ、續けて會務報告に移り、

「本協會は震災で打撃を受けて、當時實に細々と困難な會計を維持して來たが、最近になり會員は増加、同時に協會の名で出版した収入、其の他の雜收入によつて相當多額の基本金が出來、こゝに堅實な基礎に立つことになつたこれ等の収入は會費によるのではなく殆んど出版物の印税によつては居るが本會は會員組織、皆さんの會である。我國には全國的な幼稚園協會といふものは本會がある許り、機關雜誌幼兒の教育も亦幼稚園界に獨占的な地位を持つ

てゐる。この日本に於ける唯一的地位を持つ本會、又雜誌、しかもこれは自分達の會として永く愛顧されたい」と、

續いて、女子學習院教授の宇佐美敬氏の「歐米幼稚園の實際を見て」の講演と、東京文理科大学生小野直氏「幼兒の面白がるお話」の實演とあり。一は我等の知りた、聞きたい外國幼稚園の様子、他は毎日の保育の上に宜い參考になる話、最後に女高師附屬幼稚園若手幹部の人形芝居（お菓子の家、猿蟹合戦）、は無邪氣に大人共を大よるこぼせる。

さゝやかな茶菓が伊され會員相互打ち解けて話し合ひ出したのは五時頃間もなく散會した。